

令和七年度 岡山学芸館高等学校 選抜一期入試【二月二十四日】 問題（国語）

1

業績不振のホテルにやってきた新社長は、総選挙で管理職、従業員をきめることを提案。その結果黒田は、ホール課の課長に選ばれた。しかしホール課の評価は低く、次の総選挙で課のスタッフ二名を減らすと告げられる。次は、その日黒田が小松をはじめとするスタッフ数人と居酒屋に行き、小松とタクシーで帰宅している場面である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

受験番号
算用数字

注意① 解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。

注意② 字数が指定されている設問では、「」や「。」も一まず使いなさい。

「皆いいヤツらだよな」黒田は窗外へ目を向けたままで呟く。

「ホール課のスタッフのことですか？」

「ああ」

「そうですね」

「だが来期二人がクビになる」

「……そうですね」小松が小さな声で言った。

「それはバイトだったとか、休み明けのシフトで新メニューの知識を仕入れる前だったとか、そういう③言い訳は通用しないんだよな。お客さんにとつちや、そんなこと関係ないんだから。管理職の仕事っていうのは、全スタッフに目配りをする事なのに、全然できてなかった。なんで俺、管理職の選挙で当選したのかな？ そもそも立候補してなかったっていうのに」

「完璧じゃないから、じゃないですかね？」

「えっ？」

「上司が完璧じゃ下は大変ですよ。ダメなところとかあつてくれた方がこっちは楽ですよ。勿論許される範囲内での話ですけどね。それに……課長はちゃんと見てくれるんですよ。なんか、ちよつと貧乏くじを引いちやう時つてあるじゃないですか。メンドーなお客さんにあたるとか、納品が予定通りにこななくていっぺんになつて、一人で力仕事みたいいな時とか。そういう時、課長はいつとも見てくれるんですよ。大変だったな、ご苦労さんとか言つてくれて。そういうの、ちっちゃいことなんですけど、⑥実は大きかつたりするんですよ」

「そうか？」

「そうですね」小松がしつかりと頷く。

「俺、完璧じゃないつて言われてダメ出しされてるのに、ちよつと嬉しいよ」

「いや、ですからあ——」

手を上げて小松の言葉を制した。「わかつてる。ありがとな」

「いやあ……はい」  
タクシーが停まったのは『工事中』と書かれた電飾看板の横だった。いくつもの電飾看板で囲われた中では、二十人ほどが作業している。作業用ライトが煌々と彼らを照らしている。

④黒田は大学生の頃にバイトをしていた牛井屋を思い出した。二十四時間営業がウリのチェーン店で、深夜から早朝にかけての時給が高い時間帯に働いていた。そこにはこの人たちのような作業着姿の客も多かった。仕事帰りの人もいたし、これから仕事らしき人もいた。国籍も年齢も様々だった。常連の中に監督と仲間から呼ばれている男がいた。その男はカウンターで仲間と並んで牛井を食べながら、④愚痴を聞いてやつたり、叱つたり、励ましたりするのだった。給料日には奢つてやつたりもして、よき兄貴風だった。

職場にこんな先輩がいたらいいだろうなと思いつながら眺めていたある頃から監督がぱつたり来なくなつた。一緒に来ていた人たちの姿は見られたので、仕事が片付いたといった訳ではないようだった。しばらくして仲間たちの話から、監督は胃の手術をし入院中だと知つた。見舞いに行つたという男が、奥さんのコメントを披露した。神経が細かいところがある人なので、中間管理職の仕事が辛かつたのだろう、胃だけではなく心も⑤壊れかかっている、と。呆然とする仲間たちと同じように、黒田もショックを受けた。元々そういう性格なのだろうと思つていたが、違つた。必死で努力していた——。当時受けた衝撃とはまったく違う感慨が今ならある。あの時は……監督の弱さに驚いた。だが今は驚かない。やつぱりそうかと納得できる。人はそんなに強くないと知つているから。だからちよつとしたことで傷つくし、嬉しくなる——。

窓ガラスから頭を離し、左の小松へ顔を向けた。

小松の膝には茶色の鞆と、黒い鞆の二つがのつている。

黒田は尋ねた。「なんでお前は俺の鞆を持つてるんだ？」

「課長が鞆から物を出してそこらに放り出さないうようにですよ。」

拾い集めるの大変なんですから」

「俺が？ 俺が自分の鞆から物を出す？ そんなことしないよ」

「またあ。一軒目の店でも、二軒目でもやつたじゃないですか。その間の移動中でも。出しちや、ぽーんとか言つて、放り投げるんですよ。困つた人ですよ、課長は」

「本当だな。困つた人だな、俺は。完璧じゃなくて、弱くて——だから集まつて強くなればいいんだよな。一人ひとりにダメなところがあつても、補い合えば完璧に近づけるかもしれないもんな。いや、かもしれないじゃなくて、きつとだ。きつと完璧になれるさ。それぞれの持ち場で精一杯頑張れば……それが働くつてことなんだよな。（後略）」

出典 桂望実『総選挙ホテル』

（注）ホール課…レストランの給仕などをする係。

① ——の部分④・⑤の漢字の読みを書きなさい。

② 「<sup>ア</sup>言い訳」とあるが、このことばと同じような意味になるように、次の文の□□に漢字二字を書きなさい。

自分を□□化する。

③ 「<sup>イ</sup>実は大きかつたりするんですよ」とあるが、どういうことが大きいと言つていますか。次の文の□□に入れるのに適当なことばを、二十字以内で書きなさい。

ホール課の誰かが損な役回りにあたつたときに、黒田は□□こと。

④ 「<sup>ロ</sup>黒田は……バイトをしていた牛井屋を思い出した」とあるが、黒田にとつての牛井屋の思い出を説明したものとして最も適当なのは、<sup>ア</sup>～<sup>エ</sup>のうちではどれですか。一つ答えなさい。

<sup>ア</sup> 監督と呼ばれている人が給料日に仲間に奢つてやる姿を見て、上司の行動の根本にしようと思つた思い出。

<sup>イ</sup> 大らかな兄貴分に見えた監督は、本当は気が弱く仲間**に強**く言えない人物だとわかり、がっかりした思い出。

<sup>ウ</sup> 国籍も年齢も様々な常連客を見ながら、社会には仲間を統率するリーダー的存在が必要だと知つた思い出。

<sup>エ</sup> よい先輩だと思つていた人物が、そうなるために無理をしていたと知り、その人物の心のもろさに驚いた思い出。

⑤ 黒田は、働くことをどのように捉えていますか。次の文の□□に入れるのに適当なことばを、「完璧」「持ち場」ということばを使って、三十五字以内で書きなさい。

職場において、一人ひとりには欠点があつても、□□ということ。

⑥ この文章の表現の特徴について説明したものとして最も適当なのは、<sup>ア</sup>～<sup>エ</sup>のうちではどれですか。一つ答えなさい。

<sup>ア</sup> 「……そうですね」小松が小さな声で言つた」という表現は、来期にクビになる二人のうちに自分が選ばれる可能性が高いことから落ち込んでいる小松の心情が表れている。

<sup>イ</sup> 「手を上げて小松の言葉を制した」という表現は、小松が言葉を重ねて自分を評価してくれているのを感じて、これ以上言わせないでおこうという黒田の配慮を表している。

<sup>ウ</sup> 「小松の膝には茶色の鞆と、黒い鞆の二つがのつている」という表現は、これから黒田と小松が中心となつてホール課を改革し、課が発展していく未来を暗示している。

<sup>エ</sup> 「俺が？ 俺が自分の鞆から……そんなことしないよ」という表現は、自分の失態を思い出しておきながら、記憶にない振りをして誤魔化そうという黒田の意図が読み取れる。

2

次の文章は、サイエンスタイターの、竹内薫（たけうちかほる）が書いた文章である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

日本語には漢字があり、ひらがながあり、カタカナがあります。養老先生（まわう）いわく、日本語を認識するときの脳の部位は、漢字と、ひらがなやカタカナとは異なるということです。漢字は右脳部位で認識するのに対し、ひらがなやカタカナは左脳部位で認識するのもかもしれません。

その一方で、マンガは文字と絵の複合体ですが、マンガとそのセリフや説明文の文字は、漢字と同様に脳の異なる部位で認識されている①らしいのです。

マンガは、漢字以上に②シカク的に認識できるからこそ、読書が苦手な人でもすいすいと読める。こんな特徴を養老先生は「マンガはルビのある漢字」とユニークに表現したのです。

これはマンガに限らず、一般的な読書にも同じことがいえます。つまり、漢字が入っている文章は速く読めるという特徴があるのです。

では、英語の強みとはいったい何でしょうか。私が考える英語の強みとは、論理的であり、かつ正確性が高いことです。

たとえば、英語には単数形や複数形、さらには「a」とか「the」といった冠詞があります。これは日本語にはない論理を表す言語の代表例だといえます。

こうした細かなルールや文法が英語にある背景には、「ローコンテキスト文化」というものが存在しています。

ローコンテキスト文化とは、コミュニケーションをほぼ言語を通じて行い、直接的でわかりやすい表現がよいとされ、文法も明快かつ曖昧さがない文化を意味しています。

ローコンテキスト文化の象徴ともいえるのはアメリカでしよう。アメリカは世界各国から移民が集まっている国であるため、相手に何かを伝えたいと思ったら、曖昧さや誤解が生じないように、できる限りはっきりと明確な言葉で伝えなければならないと考えられています。

一方で、ハイコンテキスト文化である日本では、長い時代のなかで培（つちか）われた共通認識があり、言葉にしくなくても相手のメッセージを読み取る能力が身についています。だからこそ、「空気を読む」とか「忖度（てんた）する」といった、独特のコミュニケーションスタイルが発展してきたのです。

英語と国語の融合学習において、さらなるメリットと考えているのが「ニュアンスの洗練」です。

普通に③日本語だけの言語世界に生きていても、大人になれば、おのずと言葉のニュアンスを習得するでしょう。もちろん作家や新聞記者、アナウンサーといった言葉を専門とする仕事の人もいれば、そうでない人もいますし、個人差も大きいはず④です。

それでも、⑤英語を融合的に学習すると、面白いことに日本語の言葉のニュアンスに磨きがかかるのです。なぜなら、英単語や英語のフレーズは、必ずしも日本語と一対一で対応していないからです。言語が変わると、ある単語やフレーズのニュアンスが、微妙に異なってくるのです。

たとえば、「おもてなし」という日本語や「hospitality」という英語は、辞書を引けば①「た意味だとわかりますが、背景にある文化が異なり、言語空間そのものが異なるので、当然ですがニュアンスも異なります。

（中略）

辞書を引いたとき、1つの単語なのに、たくさん意味が羅列されていることに注意してください。これは、1つの単語がたくさん意味で使われるということ、つまりその言葉が、英語の言語空間やその国の文化の中で使われるシチュエーションによって、いくつものニュアンスを持っているという意味なのです。

皆さんは、「いただきます」に相当する英語が（ほぼ）存在しないことをご存じですか？

フランス語では「Bon appetit」（ボンナペティと発音します）という言い方がありますが、それも日本語の「いただきます」とはニュアンスが異なります。

「いただく」という言葉に込められた感謝の気持ちは、日本文化特有の趣だといえるでしょう。

このように英語、あるいはほかの言語と国語を融合的に学ぶことは、それまで気にかけていなかった言語のニュアンスに気づけるという意味で、「国語力が洗練される」というメリットがあるのです。

さらに言語のニュアンスに気づけると、日常生活におけるコミュニケーション力が高まることはいままでもないでしょう。

出典 竹内薫『東大卒エリートに広く深い学び方』  
（注）養老先生：養老孟司。医学博士。解剖学者。

忖度：相手の気持ちを推し量ること。 シチュエーション：状況。

① ———の部分**②**・**③**を漢字に直して楷書で書きなさい。

② 「**④**らしい」と意味が同じものは、**ア**～**エ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

**ア** 彼のリーダーらしい振る舞いに感心した。

**イ** パンダの仕草の一つ一つがかわいらしい。

**ウ** 暖かく穏やかな春らしい日々が続く。

**エ** 今週末、兄はキャンプに行くらしい。

③ 「ローコンテキスト文化」とあるが、この文化について説明したものとして最も適当なものは、**ア**～**エ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

**ア** 相手に何かを伝えたいとき、言葉だけでは正確に通じない恐れがあるため、誤解が生まれないように、大げさな身振り手振りを交えて話すことが多い。

**イ** 単数形か複数形か、冠詞の使い方など、ルールや文法が細かく複雑で使いこなすのが難しい言語を使っているため、紋切り型のありきたりな表現になりがちである。

**ウ** 文法も明快で曖昧さがないのは、ほぼ言語だけでコミュニケーションを行うため、誤解が生まれやすい直接的でわかりやすい表現を使おうとするためである。

**エ** アメリカがこの文化の発祥であるが、移民たちが相互にコミュニケーションが取れるようにと考え、それぞれの民族の文化の特徴を取り入れて生まれたものである。

④ 「日本語だけの言語世界」とあるが、日本の言語文化について説明した次の文の□□に入れるのに適当なことを、**「メッセージ」「独特」ということば**を使って、四十五字以内で書きなさい。

長年にわたって蓄積された共通認識があり、□□、ハイコンテキスト文化である。

⑤ 「**⑥**英語を融合的に学習すると、面白いことに日本語の言葉のニュアンスに磨きがかかる」とは、どういうことですか。次の文の□**X**、□**Y**に入れるのに適当なことを、□**X**は十二字、□**Y**は九字で文章中から抜き出して書きなさい。

日本語と英単語が□**X**ことから、意識していなかった日本語のニュアンスに気づくことができ、□**Y**という効果があるということ。

⑥ 本文の内容を説明したものとして最も適当なのは、**ア**～**エ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

**ア** マンガは絵で内容が認識できるので速く読めるが、ルビがあっても漢字が入っている文章は速く読めない。

**イ** 言葉は使われる国の文化や使う場面によって、言葉に込められた思いや意味合いが微妙に変わってくる。

**ウ** 日本語の「おもてなし」と同じような意味の言葉は英語にもあるが、使われるシチュエーションが全く異なる。

**エ** マンガを読むとき、マンガのセリフや説明の文字は左脳部位で、絵の部分は右脳部位で認識されている。

3

次の文章は、吉野の桜を詠んだ詩歌について書かれた文章である。これを読んで、①～④に答えなさい。

受験番号
算用数字

中世の歌人正徹にとつて、「花はよし野」という組合せは詩的に絶対のものであった。吉野が多くくの歌人にうたわれた花の聖地であったからだ。けれど、それはたぶん、後醍醐天皇が絶体絶命の思いをもって吉野に逃げこんだ延元の春、「花に寝てよしや吉野の吉水の枕の下に石走る音」と詠んだ吉野の花とは、かなりちがったものであったろう。

「歌書よりも軍書にかなし芳野山」とうたわれた歴史の中の吉野の桜は、歌人によってうたわれた吉野の桜と呼応しつつ、吉野の春の情緒に一段と深い翳りを与え、吉野を通過して悲劇の人となった義経や静、また後醍醐天皇や南朝の人々の運命を心の底に思うことよって、その後の吉野の春はいっそう詩的な悲しみを深めてきたと思われる。

私はある年吉野の春にめぐり会って、杉の香りと緑の翳りの美しい夏の吉野に万葉の夏を味わった風景と比べて、何とこうちがいようかとその変貌の鮮やかさに驚いた記憶がある。それは、吉野が樹々の茂りの奥深く抱いていた長い歴史の時間を、一気に花と光の渦の中に開放してみせたような晴れがましい印象だった。

吉野の桜は役行者によって植えられたという伝説があり、蔵王堂では毎年四月十一日に吉野の神木である桜の花を蔵王権現に捧げる「花供懺法会」を営んでいるが、古今集などでみると吉野山の桜の歌はたった一首しかない。したがって全山花という吉野のイメージが定着するのはもう少し時代が下がったからのことと思われる。

吉野の花はちょうどの花供懺法会の頃からが見頃になるらしい。蔵王堂では朝から密教風の太鼓が力強いうねりのあるリズムを響かせ、参道の細道はみるみる人でふくれてゆく。花はまさに雲か雪かと思えるまでにひとかたまりに白く、幹は青ざめて佇んでいるような木もあり、年経て苔むした木もある。薄べいの葉のつややかな山桜に対して、鎌倉桜と教えられた桜は、さやかにさびしい薄緑の嫩葉が、花に半々にまじっている。

一木一木ゆっくり見て歩くと、吉野には何となく皆さんの桜の種類があることか、その一つ一つが懺法の日の賑わいをよるこびながらも、決して俄詣での浮かれびとに同化したりはせず、いんと力いっぱい花を咲かせている。その気品高い咲きぶりや木々のたたずまいを見ていると、そのどれもが、どこかで顔見知りの、なつかしむべき桜であるような気がしてくる。知る限りの桜の記憶が、この吉野山に鎮魂されて並んでいるという気がしてくる。

(中略)

大僧正・行尊は「もろともにあはれと思へ山ざくら花よりほかに知る人もなし」と、その胸中を吉野大峯の桜に訴えたが、その後、吉野の桜の優しさ、なつかしさを決定的にうたい上げたのは、何といても西行である。

① 吉野山「すゑの花をみし日より心は身にもそはずなりにき  
② 吉野山やがて出でじと思ふ身を花散りなばと人や待つらむ

こんな歌を誦しながら西行庵への道をたどると、西行にとつて吉野山とは、そして花とは何であったのかという思いがしきりにする。西行庵にいまも湧きやまぬ苦清水を汲み、こまやかに白い山桜の一枝を眺めながら、吉野の桜は西行の歌の中で、すっかり思想的な憧憬性を帯び、情や志の記号であるかのような性格まで加えていったことを思う。桜の文化史はここで一気に豊潤な美しさを付与されたと思うのだ。

そして私は、吉水院に義経遺品という余りにも小さな鎧をみつめつつ、その少年のような体軀の哀れさを思い、子守の神なる水神社本殿の造立に心を砕いた豊臣秀頼の少年のようなまなざしを思い、それら歴史のはざまにふと落ちこんだまま不運な短い人生を終った人びとに、なぜ吉野の花がふさわしいのかと考える。はじめにあげた後醍醐天皇の「花に寝て」の歌は、流麗な律に乗って奔放な情の流露するままにうたわれた好詠だが、後醍醐天皇はその手に都を回復することならず、そのまま吉野に崩じた。

この一首が哀しく美しいのは、歴史の中の吉野ゆえではなく、行動的に自らの大きな欲望に殉じた一人の男の心が、吉野という文学と歴史の山において、一瞬奔放に開花をとげ、明日の命運を超え

て流麗であり、気品高く花に対峙し得ているからである。吉野とはそういう山であり、吉野の桜の品格もそこに生まれていると思われる。

出典 馬場あき子『歌と花 わが心の風景』

(注) 正徹：室町時代中期の歌僧。

後醍醐天皇：鎌倉時代を終わらせ、足利尊氏と対立して南朝を築いた。「花に寝て」の和歌は、都を逃れ、吉野の吉水神社で詠んだもの。

延元：室町時代（南北朝時代）の元号。

「歌書よりも…」：江戸期の俳人、各務支考が詠んだ俳句。

義経：源義経。鎌倉幕府の将軍、源頼朝の弟。平家を滅ぼした功労者であったが、頼朝と不仲になり、悲劇的な最期をとげる。

静：義経の妻で、源頼朝に追われたとき吉水神社に身を隠した。役行者：奈良を中心とした活動していた修験道の開祖とされている人物。

蔵王堂：吉野山の金峯山寺の本堂。創立者は役行者とされる。嫩葉：若く柔らかな葉。行尊：平安時代後期の僧侶で歌人。

西行：平安時代末期から鎌倉時代初期の武士であり、僧侶で歌人。苦清水：西行庵の清水。水分社：吉野山にある神社。

豊臣秀頼：安土桃山時代の武将。豊臣家の後継者。

① 吉野と桜と歌との関わりについて説明した次の文の X、Z に入れるのに適当なことを、文章中から X は十五字、Y・Z はそれぞれ六字で抜き出して書きなさい。

中世の歌人、正徹の頃にはすでに吉野は X であったが、義経と静、後醍醐天皇の悲劇の場面になったことで Y を深め、西行は吉野の桜の文化史に Z を加えた。

② 「吉野山「すゑの花を…」」、「吉野山やがて出でじと…」という和歌と作者の西行について説明したものとして最も適当なのは、A、E のうちではどれですか。一つ答えなさい。

A ①は満開の美しい桜の花への強い憧憬だが、②は桜の花が散ってしまったあとのやるせない寂しさがうたわれている。

I ①は桜咲く吉野山に行きたくて仕方がない西行の思いが、②は吉野山での修行を決めた西行の決意がうたわれている。

U ①は桜の花に魅せられる自分自身の思いが、②は桜の花を見ると思い出す親しい人々への思いがうたわれている。

E ①は桜の花に心を狂わせる自身の思いが、②は都で作者を待つ人々と作者自身の気持ちの相違がうたわれている。

③ 本文の内容を説明したものととして、適当でないものは、A、E のうちではどれですか。一つ答えなさい。

A 桜が見頃になると、吉野山の参道は人々でこった返し、密教風の太鼓の音がかき消されるほどである。

I 吉野の桜の気品のあるたたずまいには、作者が知る限りの桜の記憶が刻まれているようだ。

U 「花に寝て」の歌は、自らの欲望に殉じた一人の男の心が、気高く、桜の花に対峙し得ている点で哀しく美しい。

E 吉水院や水分社を訪れると、不運な短い人生であった歴史の人物に吉野の桜がふさわしい理由を考えなくなる。

④ 中学三年生のみづきさんは、この文章を読んで次のような感想文を書いた。□に入れるのに適当なことを十字以内で書きなさい。

文章にある「もろともに」の和歌は百人一首にもあるので、何となく聞いたことがあります。調べてみると「一緒にしみじみとなつかしく思っておくれ、山桜よ。ここには、お前のほかに□のだから」という意味であり、行尊が孤独な修行に励んでいた際に詠んだものだそうです。

私は今まで吉野には桜の観光地として明るいイメージを持っていたので、こういったしみじみとした和歌が新鮮でした。

4

四人の中学生が、「大人とは何か」をテーマとするグループ学習で、【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】をもとに話し合いをした。次の【四人の中学生の話し合い】を読んで、①～④に答えなさい。

【四人の中学生の話し合い】

琴音 今日、「大人とは何か」をテーマに話し合うよ。大人に関する学校アンケートの結果をもとに、自分はどんな大人になりたいかを考えていこう。

絵麻 【資料Ⅰ】を見て。この中学校の生徒を対象にした、大人に対する意識調査の回答結果をまとめたものだよ。これを見ると、**X**ことがわかるね。そこから考えると、中学生から見た大人像はわりと一致しているといえそうだね。

知樹 仕事やなんやで忙しそうだけれど、自分のやりたいことを自己責任で自由にできる一面もある気がするんだ。

幸大 うん。同感。行動範囲も広がるし、いろいろなことにチャレンジできそう。ところで、この「憧れる大人がいる」ってみんなどんな人を思い浮かべたんだろう。僕はあまりピンと来なくて「わからない」に○をつけてしまったんだけど。では、【資料Ⅱ】を見てみようか。調査で、かっこいい大人だと思っるのはどんな人かを尋ねた自由記述の上位結果をまとめたものだよ。

幸大 なるほど、何かに打ち込んでいる人か。言われてみればサッカーに打ち込むプロ選手、かっこいい憧れるな。

絵麻 「マナーがしっかりしている」って、社会の中で常識的な振る舞いができるって意味だと思うけど、とっさのときに適切な行動がとれるということも含まれていると思うよ。

知樹

何か思い当たることがあるの？

絵麻 この間、電車に乗っているとき、急病人が出たことがあったんだ。私は怖くて固まってしまったんだけど、ときどき動いている人がいて、すごいなと思ったよ。

琴音

それはかっこいいね。医療関係の方かもしれないね。私も仕事を通して誰かの役に立つ技術を身に付けたいよ。

知樹

僕は、ユーモアがある大人に憧れるな。ユーモアって相手を笑顔にさせる、つまり相手に対する思いやりだと思うんだよ。伯父がそんな人で、伯父がいると場が和やかになる。僕は伯父みたいな人になりたいっていつも思うんだ。

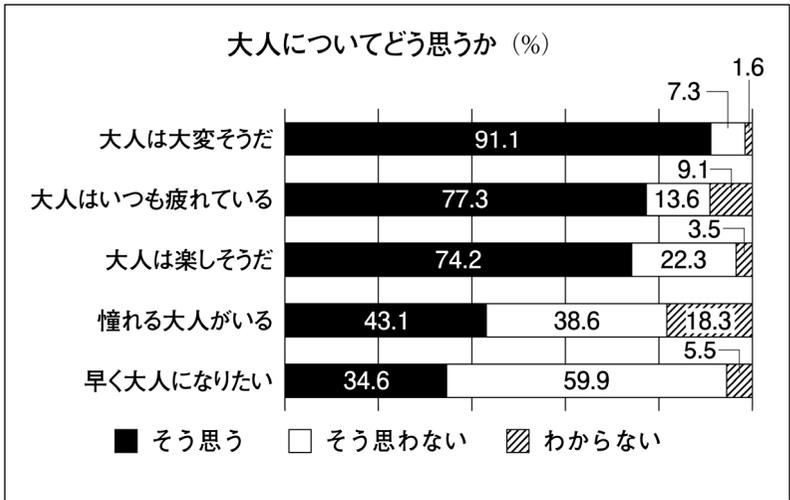
幸大

たしかに、そういう人は常に気配りしているよな。人の話もよく聞いているし。周囲への気遣いを忘れない大人もいる。

琴音

確かに大事なことだね。私たちも、憧れるだけではなく理想の大人に近づけるよう努力していこうよ。【資料Ⅲ】を見てください。大人として身に付けるべき力を箇条書きにしたものだよ。私は【資料Ⅲ】のなかで、**Y**を高めていきたいと思ったよ。なぜなら、**Z**

【資料Ⅰ】



(令和5年学校アンケート)

【資料Ⅱ】

「かっこいい大人」だと思っるのはどんな人ですか	
趣味や仕事など何かに打ち込んでいる	22人
家族や友人を大切にしている	18人
誰にでも対等な目線で接する	15人
マナーがしっかりしている	13人
面白い、ユーモアがある	10人
夢や目標がある	5人

(令和5年学校アンケート。自由記述。複数回答)

【資料Ⅲ】

大人として身に付けるべき力	
ア	責任をもって物事をやり遂げる力
イ	計画実行力
ウ	新しいことに挑戦する力
エ	コミュニケーション力

① 「常識」とあるが、これを否定の接頭語を使って「常識がない」という意味の三字の熟語にするとき、「常識」と同じ否定の接頭語がつくのはア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。  
ア 成年 イ 公式 ウ 意味 エ 義理

② 絵麻さんの意見が論理的なものとなるために、**X**に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 「大人は大変そうだ」と思わない人は全体の二割以下で、「大人はいつも疲れている」と思わない人の半数以下しかない
- イ 「憧れる大人がいる」にそう思うと答えた人より、「早く大人になりたい」にそう思うと答えた人の方が一割ほど多い
- ウ 「憧れる大人がいる」にそう思わない、わからないと答えた人の方が、「早く大人になりたい」と思わない人より多い
- エ 「大人は大変そうだ」にそう思うと回答した人は九割を超えて、「大人は楽しそうだ」と思う人も全体の七割を超えている

③ 話し合いにおける四人の発言の特徴について説明したものとして適当なのは、ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

- ア 琴音は、資料の内容を説明したうえでグループに問いを投げかけ、メンバーの発言を促している。
- イ 絵麻は、資料の項目について自分の体験にもとづいた意見を述べ、どう思うかをメンバーに尋ねている。
- ウ 知樹は、他の人とは別の項目に着目して身近な例を挙げて考えを述べ、メンバーの気づきを促している。
- エ 幸大は、前の人の発言を肯定したうえで資料について質問を投げかけ、話し合いを次の段階へと進めている。
- オ 琴音と幸大は他の人の発言を受けてそれをさらに深める発言をしたのち自分の感想を述べている。

④ 琴音さんの発言の**Y**、**Z**に入れるのに適当な内容を、**Y**はあなたが力を伸ばしたい項目を【資料Ⅲ】ア～エのうちから一つ選んで答え、**Z**は条件に従って六十文字以上八十文字以内で書きなさい。

- 条件
- 1 二文に分けて書き、一文目に、**Y**で選んだ能力が大人として必要だと思う理由を書くこと。
  - 2 二文目に、学校生活や日常生活で何をすればその能力を高めることができるかを書くこと。